

令和7年4月30日

赤穂市長 様

赤穂市立野外活動センター 指定管理者
神姫バスグループ共同事業体
代表団体 神姫トラストホールディング株式会社
代表取締役 切原 慎治



令和6年度 赤穂市立野外活動センターの事業報告について

赤穂市立野外活動センター指定管理者管理運営基準 4・(2)・イの規定に基づき、令和6年度管理委託に係る事業について、別紙のとおり報告いたします。



1. 令和6年度 野外活動センター利用状況

区分		件数	利用者数		使用料徴収額	
			実人数	延人数	施設使用料	実費弁償料
市内	幼児	2 件	31 人	31 人	0	0
	小学生	36 件	1,154 人	1,368 人	0	199,100
	中学生	4 件	152 人	188 人	0	35,830
	高校生	6 件	136 人	214 人	0	57,740
	一般	356 件	2,045 人	3,004 人	0	65,360
	小計	404 件	3,518 人	4,805 人	0	358,030
市外	幼児	0 件	0 人	0 人	0	0
	小学生	6 件	121 人	251 人	29,140	105,520
	中学生	0 件	0 人	0 人	0	0
	高校生	1 件	21 人	42 人	4,000	17,580
	一般	499 件	1,560 人	3,063 人	236,470	36,930
	小計	506 件	1,702 人	3,356 人	269,610	160,030
合計		910 件	5,220 人	8,161 人	269,610	518,060

2. 管理業務の利用状況 (人数・件数)

		利用者人数・区分(実数)					合計	延人数		合計	件数		合計
		幼児	小学生	中学生	高校生	一 般		市内	市外		市内	市外	
4月	今年度	46	113	12	18	657	846	465	234	699	46	33	79
	昨年度	115	153	13	43	1,223	1,547	1,240	594	1,834	256	109	365
	増 減	-69	-40	-1	-25	-566	-701	-775	-360	-1,135	-210	-76	-286
5月	今年度	31	53	9	4	387	484	492	299	791	45	47	92
	昨年度	43	70	18	2	395	528	518	341	859	45	50	95
	増 減	-12	-17	-9	2	-8	-44	-26	-42	-68	0	-3	-3
6月	今年度	35	72	4	4	241	356	308	236	544	29	44	73
	昨年度	18	47	7	1	214	287	248	200	448	32	38	70
	増 減	17	25	-3	3	27	69	60	36	96	-3	6	3
7月	今年度	26	157	18	3	243	447	439	205	644	29	35	64
	昨年度	23	172	24	3	343	565	545	311	856	37	39	76
	増 減	3	-15	-6	0	-100	-118	-106	-106	-212	-8	-4	-12
8月	今年度	55	183	77	122	425	862	817	521	1,338	38	48	86
	昨年度	31	171	25	53	326	606	486	435	921	38	49	87
	増 減	24	12	52	69	99	256	331	86	417	0	-1	-1
9月	今年度	21	70	8	5	268	372	387	202	589	27	35	62
	昨年度	55	123	10	1	334	523	528	285	813	42	46	88
	増 減	-34	-53	-2	4	-66	-151	-141	-83	-224	-15	-11	-26
上期計	今年度	214	648	128	156	2,221	3,367	2,908	1,697	4,605	214	242	456
	昨年度	285	736	97	103	2,835	4,056	3,565	2,166	5,731	450	331	781
	増 減	-71	-88	31	53	-614	-689	-657	-469	-1,126	-236	-89	-325
10月	今年度	4	41	6	7	284	342	365	188	553	44	33	77
	昨年度	19	53	7	85	257	421	593	268	861	52	52	104
	増 減	-15	-12	-1	-78	27	-79	-228	-80	-308	-8	-19	-27
11月	今年度	21	100	6	4	318	449	372	292	664	43	54	97
	昨年度	24	136	1	0	335	496	461	373	834	34	54	88
	増 減	-3	-36	5	4	-17	-47	-89	-81	-170	9	0	9
12月	今年度	12	48	4	0	225	289	193	312	505	27	42	69
	昨年度	31	47	7	0	236	321	246	262	508	21	35	56
	増 減	-19	1	-3	0	-11	-32	-53	50	-3	6	7	13
1月	今年度	7	48	2	0	124	181	206	159	365	15	29	44
	昨年度	16	78	3	0	588	685	709	182	891	20	35	55
	増 減	-9	-30	-1	0	-464	-504	-503	-23	-526	-5	-6	-11
2月	今年度	4	39	0	0	329	372	239	314	553	20	47	67
	昨年度	26	28	2	0	290	346	173	387	560	21	55	76
	増 減	-22	11	-2	0	39	26	66	-73	-7	-1	-8	-9
3月	今年度	18	106	14	18	473	629	522	394	916	41	59	100
	昨年度	29	118	14	25	435	621	414	598	1,012	31	67	98
	増 減	-11	-12	0	-7	38	8	108	-204	-96	10	-8	2
下期計	今年度	66	382	32	29	1,753	2,262	1,897	1,659	3,556	190	264	454
	昨年度	145	460	34	110	2,141	2,890	2,596	2,070	4,666	179	298	477
	増 減	-79	-78	-2	-81	-388	-628	-699	-411	-1,110	11	-34	-23
合計	今年度	280	1,030	160	185	3,974	5,629	4,805	3,356	8,161	404	506	910
	昨年度	430	1,196	131	213	4,976	6,946	6,161	4,236	10,397	629	629	1,258
	増 減	-150	-166	29	-28	-1,002	-1,317	-1,356	-880	-2,236	-225	-123	-348

3. 利用の料金の収入実績

		施設使用料	実費弁償料	小計	自主事業収入	総計
4 月	今年度	20,800	120	20,920	385,324	406,244
	昨年度	30,850	36,920	67,770	436,376	504,146
	増 減	-10,050	-36,800	-46,850	-51,052	-97,902
5 月	今年度	27,620	9,900	37,520	558,568	596,088
	昨年度	30,560	26,000	56,560	549,309	605,869
	増 減	-2,940	-16,100	-19,040	9,259	-9,781
6 月	今年度	17,650	16,830	34,480	412,208	446,688
	昨年度	14,600	9,280	23,880	359,165	383,045
	増 減	3,050	7,550	10,600	53,043	63,643
7 月	今年度	8,910	54,900	63,810	377,064	440,874
	昨年度	18,270	115,190	133,460	532,125	665,585
	増 減	-9,360	-60,290	-69,650	-155,061	-224,711
8 月	今年度	35,070	226,040	261,110	740,841	1,001,951
	昨年度	24,620	96,870	121,490	729,798	851,288
	増 減	10,450	129,170	139,620	11,043	150,663
9 月	今年度	13,850	59,760	73,610	311,131	384,741
	昨年度	22,180	66,880	89,060	446,038	535,098
	増 減	-8,330	-7,120	-15,450	-134,907	-150,357
上期計	今年度	123,900	367,550	491,450	2,785,136	3,276,586
	昨年度	141,080	351,140	492,220	3,052,811	3,545,031
	増 減	-17,180	16,410	-770	-267,675	-268,445
10 月	今年度	15,370	8,960	24,330	338,501	362,831
	昨年度	19,910	133,260	153,170	466,486	619,656
	増 減	-4,540	-124,300	-128,840	-127,985	-256,825
11 月	今年度	23,050	1,040	24,090	480,351	504,441
	昨年度	30,320	49,900	80,220	405,122	485,342
	増 減	-7,270	-48,860	-56,130	75,229	19,099
12 月	今年度	32,420	16,420	48,840	263,549	312,389
	昨年度	29,580	24,320	53,900	258,897	312,797
	増 減	2,840	-7,900	-5,060	4,652	-408
1 月	今年度	12,470	38,870	51,340	175,604	226,944
	昨年度	14,090	40,770	54,860	213,089	267,949
	増 減	-1,620	-1,900	-3,520	-37,485	-41,005
2 月	今年度	25,890	40,990	66,880	343,095	409,975
	昨年度	35,420	28,190	63,610	377,339	440,949
	増 減	-9,530	12,800	3,270	-34,244	-30,974
3 月	今年度	36,510	44,230	80,740	455,676	536,416
	昨年度	45,990	79,780	125,770	549,343	675,113
	増 減	-9,480	-35,550	-45,030	-93,667	-138,697
下期計	今年度	145,710	150,510	296,220	2,056,776	2,352,996
	昨年度	175,310	356,220	531,530	2,270,276	2,801,806
	増 減	-29,600	-205,710	-235,310	-213,500	-448,810
合計	今年度	269,610	518,060	787,670	4,841,912	5,629,582
	昨年度	316,390	707,360	1,023,750	5,323,087	6,346,837
	増 減	-46,780	-189,300	-236,080	-481,175	-717,255

4. 管理業務に係る経費の収支状況

《収入》

項目	計画金額	実績金額	備考
指定管理料	19,900,000	19,900,000	
使用料収入等	750,000	787,670	
自主事業収入	5,140,000	4,665,200	
その他収入	200,000	176,712	自動販売機手数料
合計	25,990,000	25,529,582	

《支出》

項目	計画金額	実績金額	備考
人件費			
給与・賞与	12,000,000	9,945,568	
法定福利費	1,040,000	734,767	
厚生福利費	60,000	246,791	
小計	13,100,000	10,927,126	
事務費			
消耗品費	446,000	331,087	自主事業開催経費含
備品購入費	70,000	34,800	
図書印刷費	70,000	58,080	
通信運搬費	317,000	253,405	
宣伝広告費	136,000	191,680	
教育実習費	20,000	62,268	
小計	1,059,000	931,320	
管理費			
委託費	715,000	532,172	
旅費	330,000	263,333	
水光熱費	800,000	701,267	電気代
	250,000	222,001	水道代
	35,000	99,403	ガス代
修繕費	400,000	325,820	
燃料油脂費	54,000	196,261	
諸施設使用料	56,000	220,063	
被服費	100,000	129,195	
諸手数料	—	301,428	
その他経費	1,887,000	1,763,218	自主事業開催経費含
租税公課	1,357,000	1,123,341	清算消費税含(567,151円)
小計	5,984,000	5,877,502	
事業費			
保険料	160,000	125,881	
一般管理費	1,968,800	7,667,753	自主事業収支差額含
小計	2,128,800	7,793,634	
合計	22,271,800	25,529,582	

5. 自主事業にかかる経費の収支状況

＜収入＞

項目	金額	備考
ドームテント設置・運営事業	2,878,000	
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	1,089,500	
アウトドア・バーベキュー用具等提供事業	527,300	
バーベキュー用具等物品販売事業	152,400	
自動販売機設置手数料	176,712	
その他事業	18,000	グラウンド・ゴルフ大会
合計	4,841,912	

＜支出＞

項目	金額	備考
ドームテント設置・運営事業	298,575	
ドームテント改修費	755,700	
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	869,282	販売品仕入れ経費
バーベキュー用具等物品販売事業	216,242	販売品仕入れ経費
その他事業	40,086	
合計	2,179,885	

収入	4,841,912
支出	2,179,885
差額	2,662,027

6. 管理業務等の実施状況

(1) はじめに

令和6年度は新たな管理期間となり、その事業計画のテーマとして『こどものアソビバ計画』を掲げ、当施設にお越しいただいたお子さまにご満足いただける取り組みを始めました。

その最初の取り組みとして施設内にボルダリング設備を導入し（右写真上）、子どもたちが楽しみ、賑わう『アソビバ』を提供しました。

また施設認知度向上と新たな利用形態を開拓するため、『自然に親しみながら健康づくり』をテーマにグラウンド・ゴルフ大会を開催しました（右写真下）。

当事業は当社グループが管理運営する赤穂海浜スポーツセンターとの連携事業として開催し、相互の施設や事業の案内を行い、同一管理者であるスケールメリットを活かした事業として、次年度以降も継続開催します。

また令和3年度に設置したドームテントも設置後4年が経過し、施設や設備の損傷も目立ってきたことから、機能性を高める目的も含め、令和7年3月に改修工事を行いました（詳細後述記載）。



(2) 施設の利用状況について

今年度はコロナ禍以来に年間利用件数が1,000件を下回り、特にバーベキューの利用が昨年比305件減と利用者数の減少にも起因する結果となりました。

バーベキュー利用については昨夏の酷暑が原因と考えられ、キャンプ利用においても暑さを理由に利用のキャンセルや利用時季変更の申し出をされる利用者も多く、天候や気候に大きく左右される利用形態ということを再認識いたしました。

また3月下旬から4月上旬の桜開花の状況も、開花時期や天候不良等により芳しくなく、利用者が減少した要因と考えられます。

一方で、天候等の影響を受けにくい談話室での懇親会やサークル活動を目的とした利用が増加し（昨年比27件増）、利用の半数が初めて当施設を利用され、施設にご満足いただいたことから、今後のリピート利用に繋がる利用状況となりました。

【直近6カ年の利用件数及び利用人数】

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	732	618	1,228	1,314	1,258	910
人数	10,132	5,377	8,373	9,872	10,397	8,161

【令和6年度の利用目的割合】

	キャンプ	ドームテント	バーベキュー等	合宿	その他
件数	489	280	91	12	38
割合(%)	53.7	30.8	10.0	1.3	4.2
昨年度件数	493	338	396	22	9
増減	-4	-58	-305	-10	29

①施設の設置目的にあった利用 ～キャンプ利用状況の変化～

コロナ禍以降、当施設でのキャンプ利用は大幅に増加し、利用終了後に次回の利用予約をされる方がリピート利用者の約半数を占め、『予約の取りづらい施設』といった人気の高い施設に変わりつつあります。

しかし今年度 9 月から 10 月にかけては猛暑や残暑の影響もあり利用が大きく減少しましたが（昨年同月比-51 件）、年間対比では-4 件となり、年間通してキャンプ利用ニーズの施設の人気度の高さが伺える利用状況となりました。

アンケートにおいても『施設内の美観・景観』『スタッフのサービスレベル』には引き続きご満足いただいております、当施設のリピート利用が定着されている要因と考えております。

【直近 6 ヶ年のキャンプ利用件数】

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
件数	65	215	562	491	493	489

②新たな施設の姿 ～ドームテントの設置～

開設 4 年目を迎えた今年度は、一定の施設認知度は得られているものの、昨年に続き利用が減少する結果となりました。

その一方で施設のリピート率は比較的高水準と捉えており、利用者のうち約 20%の方がリピート利用で、月によってはリピート率が約 40%を超える月もあり、また年間利用者の約 3%の方が 4 回以上当施設をご利用いただいているなど、利用が減少する一方で当施設には不可欠な取り組みとなっています。

今年度 3 月には懸念事項であった設備機能を高めるために、ドア付近に雨除け庇の設置や眺望を良くするために窓枠パネルを刷新するなど、利用者の満足度および快適性の向上に繋げるための施設改修を行いました。

【ドームテント利用状況】 ※稼働率＝利用棟数÷月間利用可能棟数

月	利用件数	宿泊者数	利用棟数	稼働率(%)
4 月	22	69	23	41.1
5 月	25	74	26	44.8
6 月	24	70	25	44.6
7 月	22	85	23	39.7
8 月	42	143	44	75.9
9 月	19	67	23	41.1
10 月	18	55	21	36.2
11 月	30	88	33	58.9
12 月	21	58	24	48.0
1 月	14	42	16	30.8
2 月	19	58	21	40.4
3 月	24	69	26	72.2
合計	280	878	305	47.2
昨年	338	1,033	353	52.8
増減	-58	-155	-48	-5.6

(3) 安全対策と緊急時の対応

『安全は全てに優先する』という安全に関する基本理念のもと、施設内の日常的な巡視方法や手順を再確認し、施設・設備の危険箇所や異常箇所の発見、及び不審者の有無についてもチェックを行い、速やかな対応処置により危険を排除して安全確保に努めました。

- ・『危機管理マニュアル』を再確認し、災害発生時の対応、避難経路等をスタッフ及び利用者への周知徹底を図っています。
- ・利用の多い展望台ウッドデッキの手摺やテーブル、イスなどの腐食・損傷を常時点検し、異常発生時には早期復旧を行いました。
- ・施設周辺に植生する雑草や雑木の除草や伐採作業を常時行い、害獣や害虫が生息しにくい環境整備を行い、利用者の安全に配慮した施設管理を行いました。

【安全管理・危機管理に関する基本事項】

事故防止

- ・日常の巡回巡視による危険箇所のチェックと改善の実施
- ・専門業者による定期点検と施設責任者による最終確認
- ・利用者への注意喚起

衛生管理

- ・食品衛生責任者による、毎日の厨房管理や食器類の衛生管理
- ・感染症予防の対応
- ・施設内の消毒作業
- ・スタッフによる巡回中の清掃

(4) 利用者ニーズの把握について

全利用者様に対しアンケート調査を行ったうえ、スタッフによる声掛けや施設ホームページに意見聴収のページを設け、多方面よりニーズの把握に努めました。(別紙アンケート結果添付)

(5) 施設運営ルールの再徹底

○施設設置条例・協定書等の理解

利用者に対して施設の利用条件や利用の案内を適切に行うために、本社スタッフも含めて施設設置条例・指定管理者基本協定書を理解するためのミーティングを実施したことに加え、利用案内・接遇に関する職場内研修を実施しました。

また次年度に新たな管理期間を迎えるにあたり、事業計画書内容の説明や運用方法、課題や問題点を洗い出し、スムーズな計画実施に向けてミーティングを行いました。

(6) 施設維持管理について

令和6年度に実施した主要な維持管理と修理内容は次の通りです。

令和6年4月～令和6年10月の期間の月1回	業務内容：環境衛生管理業務（害虫駆除薬剤散布） 実施場所：厨房、談話室、事務所、トイレ、倉庫、機械室 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和6年5月7日	業務内容：劣化ベンチ撤去 実施場所：芝生広場 実施者：施設職員
令和6年5月13日	業務内容：消防設備総合点検（総合点検） 実施場所：管理棟内消防設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和6年11月11日	業務内容：消防設備総合点検（任意点検） 実施場所：管理棟内消防設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和6年11月11日	業務内容：電気設備点検（任意点検） 実施場所：管理棟内電気設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和6年11月11日	業務内容：ボイラー設備点検（任意点検） 実施場所：管理棟内ボイラー設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和6年12月13日	業務内容：芝生広場洗い場蛍光灯 LED 化 実施場所：芝生広場洗い場 実施者：荏田電工
令和6年12月16日	業務内容：ウッドデッキテーブル・イス不足部分取替 実施場所：ウッドデッキ 実施者：施設職員
令和6年12月16日	業務内容：掲揚柱基礎欠損部分補修 実施場所：芝生広場 実施者：施設職員
令和7年1月31日	業務内容：かまど広場洗い場蛍光灯 LED 化 実施場所：かまど広場洗い場 実施者：荏田電工
令和7年2月6日	業務内容：ウッドデッキ手すり交換及び補強 実施場所：ウッドデッキ 実施者：施設職員
令和7年3月4日～14日	業務内容：ドームテント改修工事 実施場所：ドームテント 実施者：施設職員、株式会社ルミカ
令和7年3月14日	業務内容：ドームテント Wi-Fi 工事 実施場所：ドームテント 実施者：荏田電工

(7) 自主事業について

①物品販売事業（バーベキュー食材・用品提供・ゴミ袋販売）

実施概要：利用者の利便性向上のため、バーベキュー食材や地元産牡蠣の販売（取次）の実施、バーベキュー用品のレンタルを行いました。

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

販売実績：バーベキュー食材	1,089,500 円
【内訳】一般販売食材	407,500 円
ドームテント食材	580,000 円
牡蠣販売	102,000 円
用品レンタル	358,300 円
用品販売	152,400 円
その他販売・レンタル	169,000 円
【内訳】ウッドデッキ	5,000 円
ゴミ袋販売	49,100 円
焚火架台	114,900 円

②ドームテント設置事業

実施概要：昨今の新たなアウトドアシーンで流行のグランピング施設を設置し、新規利用者層の開拓を図りました。

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

※令和7年3月3日～14日は改修工事のため利用休止

利用実績：利用件数	280 件
利用棟数	305 棟
利用人数	863 名（実数）
利用料収入	2,878,000 円

③元旦施設無料開放（初日の出観覧会）

実施概要：毎年実施している元旦の初日の出観覧会を実施（施設無料開放）。過去最高の来場者数となり、初めて来場される方も多く、施設認知度向上に繋がりました。

実 施 日：令和7年1月1日 午前6時30分～午前8時

来 場 者：約500名

④自動販売機設置

実施概要：来場者の利便性向上のため、玄関前に飲料水及びアイスクリームの自動販売機を設置しました。

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

販売実績：176,712 円（手数料収入）

⑤グラウンド・ゴルフ大会

実施概要：高齢者に人気のグラウンド・ゴルフを当施設で開催し、キャンプ活動以外での

利用を促進し、市民の方々の健康を促進する。

実施期間：令和 7 年 2 月 27 日

参加者数：36 名

収 入：18,000 円（参加料収入）

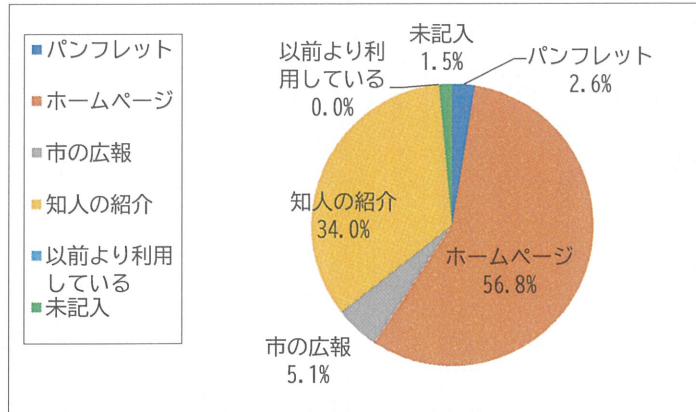
赤穂市立野外活動センター 令和6年4月～ 令和7年3月 アンケート集計表

集計枚数 585

◇何でお知りになりましたか？

1	パンフレット	15
2	ホームページ	332
3	市の広報	30
4	知人の紹介	199
5	以前より利用している	0
6	未記入	9

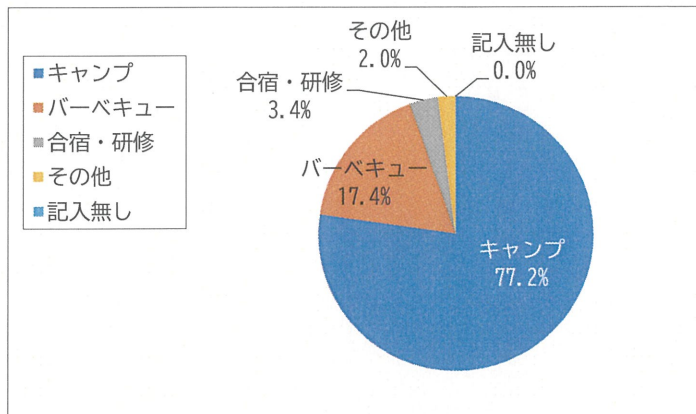
合計 585



◇当施設の使用目的は？(複数回答可)

1	キャンプ	458
2	バーベキュー	103
3	合宿・研修	20
4	その他	12
5	記入無し	0

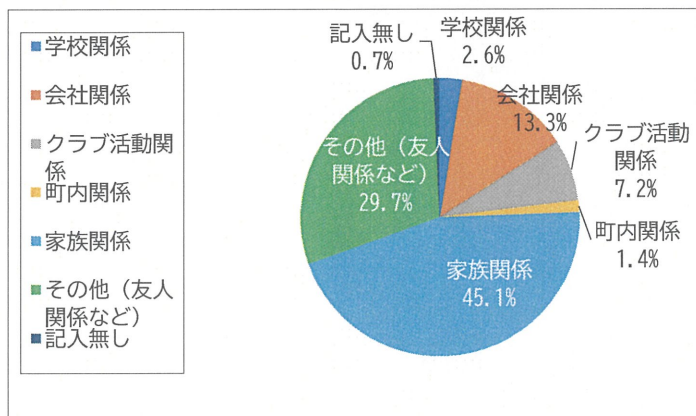
合計 593



◇使用された団体・グループは

1	学校関係	15
2	会社関係	78
3	クラブ活動関係	42
4	町内関係	8
5	家族関係	264
6	その他（友人関係など）	174
7	記入無し	4

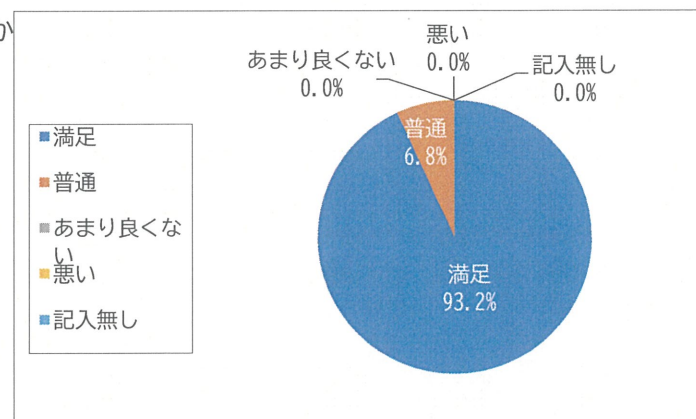
合計 585



◇施設及び用具は利用していかがでしたか？

1	満足	545
2	普通	40
3	あまり良くない	0
4	悪い	0
5	記入無し	0

合計 585

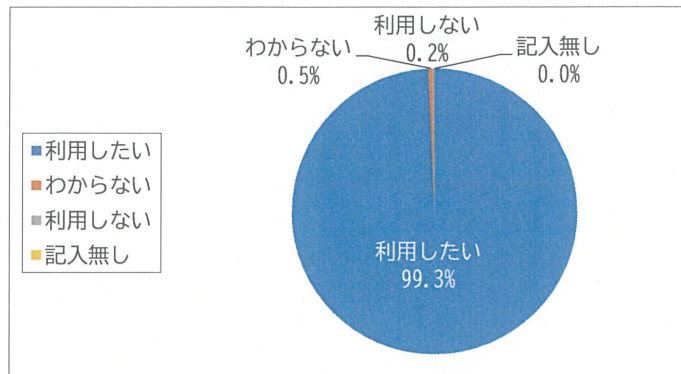


赤穂市立野外活動センター 令和6年4月～ 令和7年3月 アンケート集計表

◇また利用したいと思いますか

1	利用したい	581
2	わからない	3
3	利用しない	1
4	記入無し	0

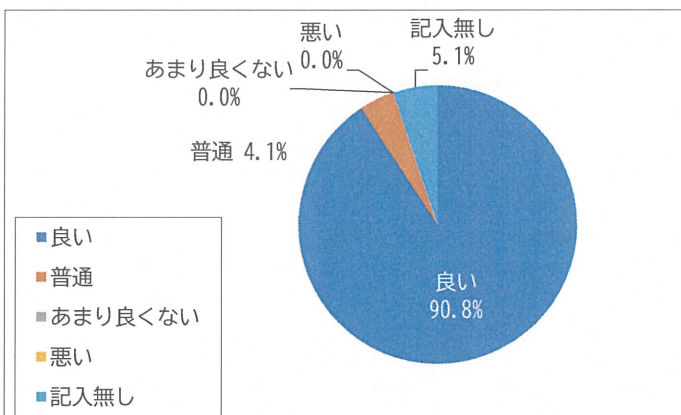
合計 585



◇職員の対応はいかがでしたか

1	良い	531
2	普通	24
3	あまり良くない	0
4	悪い	0
5	記入無し	30

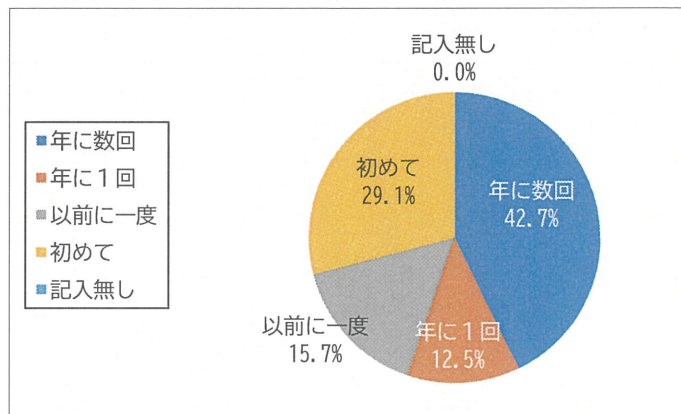
合計 585



◇施設の利用回数について

1	年に数回	250
2	年に1回	73
3	以前に一度	92
4	初めて	170
5	記入無し	0

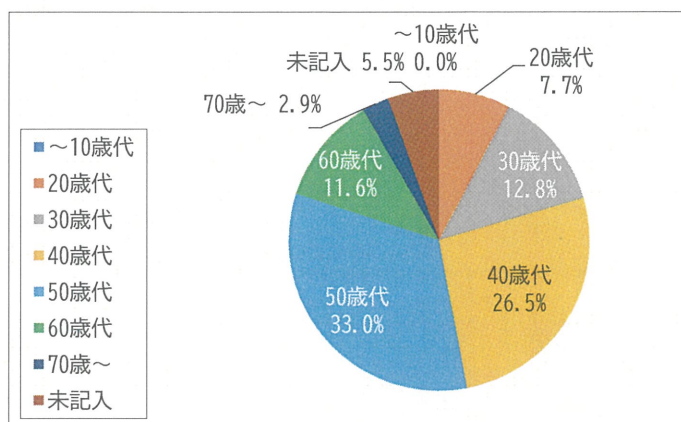
合計 585



◇年齢層(アンケート回答者)

1	～10歳代	0
2	20歳代	45
3	30歳代	75
4	40歳代	155
5	50歳代	193
6	60歳代	68
7	70歳～	17
8	未記入	32

合計 585



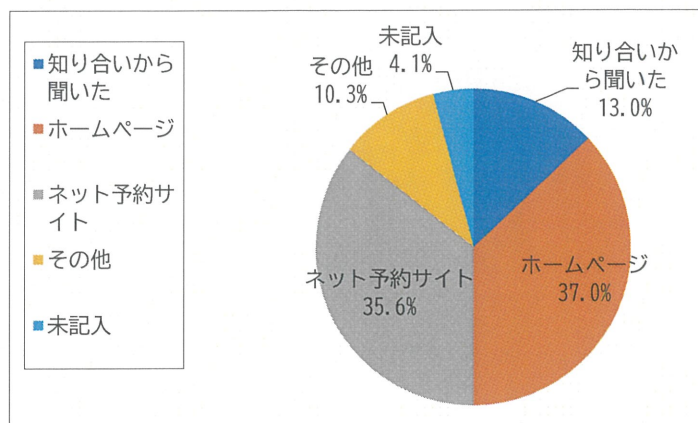
赤穂市立野外活動センター（グラドームテント） 令和6年4月～令和7年3月 アンケート集計表

集計枚数 292

◇何でお知りになりましたか？

1 知り合いから聞いた	38
2 ホームページ	108
3 ネット予約サイト	104
4 その他	30
5 未記入	12

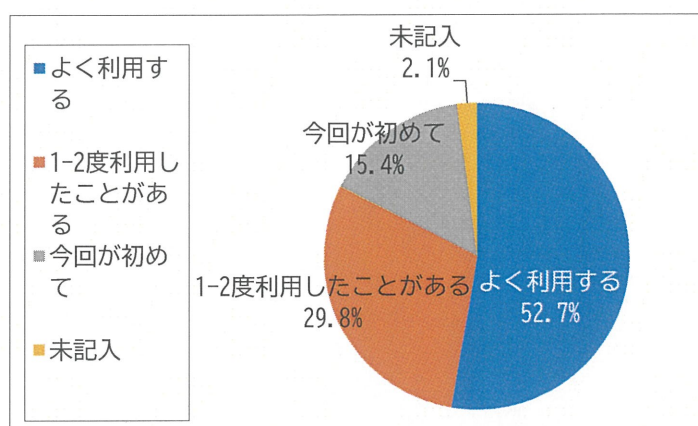
合計 292



◇アウトドア関連の宿泊施設を利用されることは

1 よく利用する	154
2 1-2度利用したことがある	87
3 今回が初めて	45
4 未記入	6

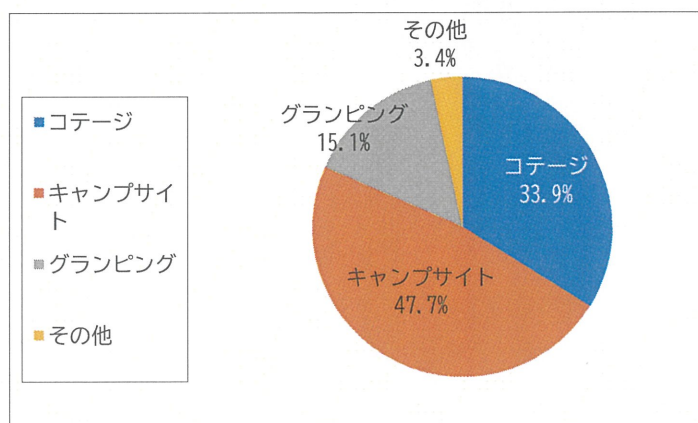
合計 292



◇(Q2-1・2)よく利用する施設は(複数回答可)

1 コテージ	101
2 キャンプサイト	142
3 グランピング	45
4 その他	10

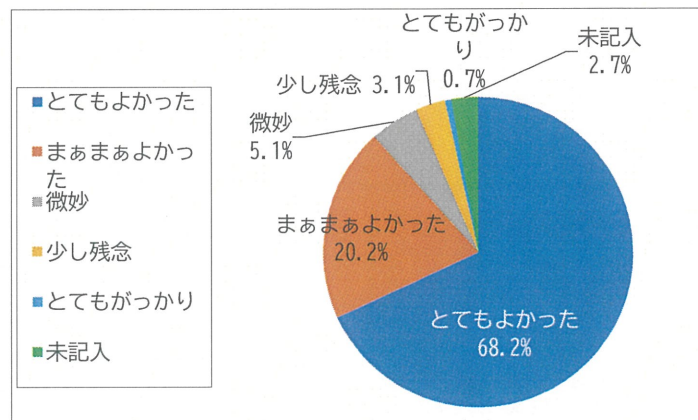
合計 298



◇当施設をご利用いただいた感想は

1 とてもよかった	199
2 まあまあよかった	59
3 微妙	15
4 少し残念	9
5 とてもがっかり	2
6 未記入	8

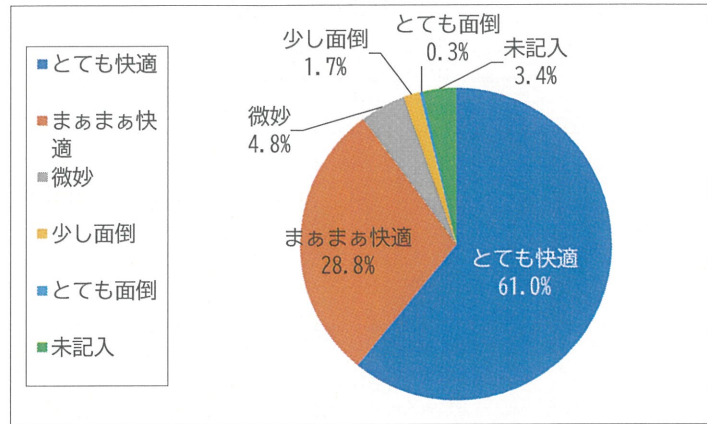
合計 292



赤穂市立野外活動センター（グランドームテント） 令和6年4月～令和7年3月 アンケート集計表

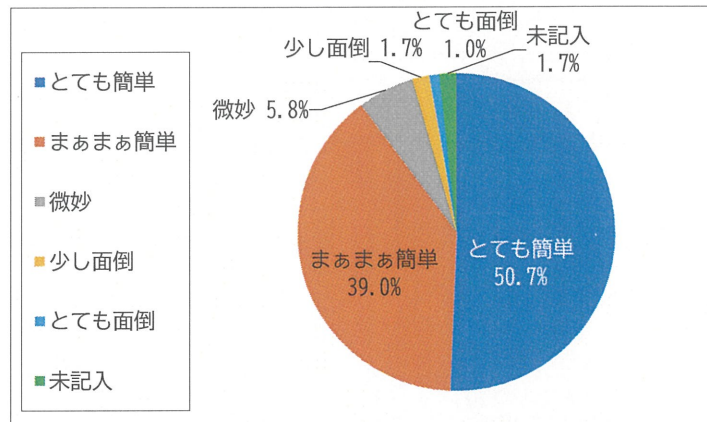
◇ 居住性はいかがでしたか？

1	とても快適	178
2	まあまあ快適	84
3	微妙	14
4	少し面倒	5
5	とても面倒	1
6	未記入	10
合計		292



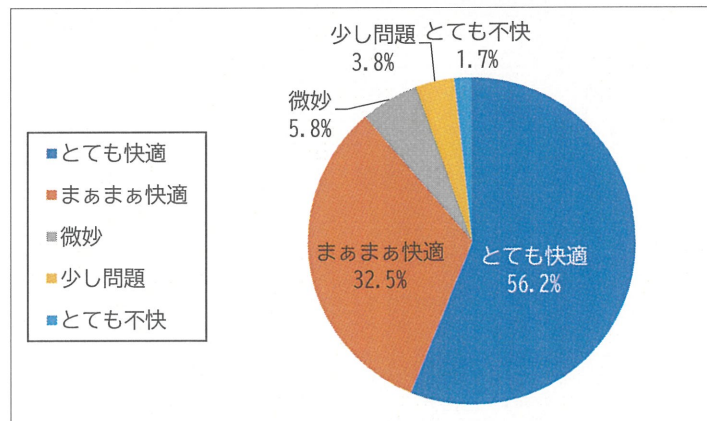
◇ 寝具のセット等はトラブルなく行えましたか？

1	とても簡単	148
2	まあまあ簡単	114
3	微妙	17
4	少し面倒	5
5	とても面倒	3
6	未記入	5
合計		292



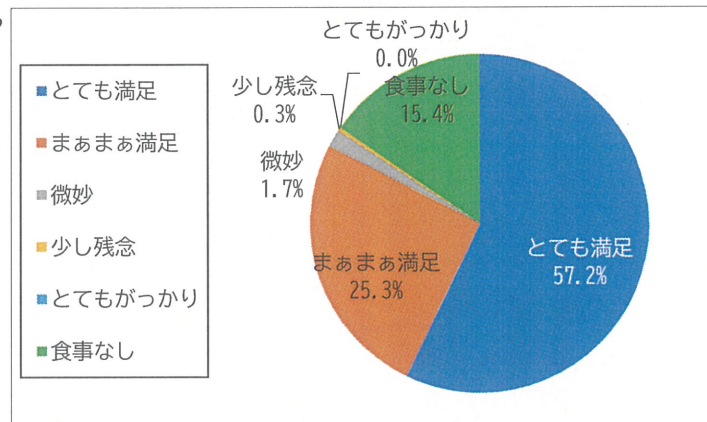
◇ 室温・日差し等の問題はありますか？

1	とても快適	164
2	まあまあ快適	95
3	微妙	17
4	少し問題	11
5	とても不快	5
合計		292



◇ 夕食時の場所対応についてはいかがでしたか？

1	とても満足	167
2	まあまあ満足	74
3	微妙	5
4	少し残念	1
5	とてもがっかり	0
6	食事なし	45
合計		292

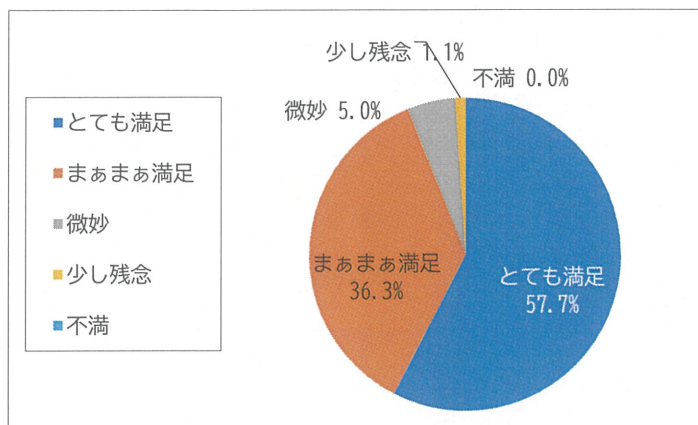


赤穂市立野外活動センター（グランドームテント） 令和6年4月～令和7年3月 アンケート集計表

◇ 総合的な満足度をお聞かせください

1	とても満足	162
2	まあまあ満足	102
3	微妙	14
4	少し残念	3
5	不満	0
6	未記入	11

合計 292



令和6年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立野外活動センター				
所在地	赤穂市御崎708番地1				
指定管理者	団体名	神姫バスグループ共同事業体	指定 期間	開始日	令和6年4月1日
	所在地	兵庫県姫路市花田町一本松1-1		終了日	令和11年3月31日
選定方法	公募		評価実施年	指定期間 5年のうち 1年目	
施設設置目的	市民の健康づくりに寄与し、青少年の体力向上と情操の涵養を図り、自然に親しむ野外活動を普及振興する。				
主な実施事業	一般及び団体への施設貸出に伴う使用許可、使用料徴収、施設内植栽等の維持管理業務、グランピング施設等の運営・管理、アウトドア用品のレンタル・販売事業、バーベキュー食材販売事業				

2 利用状況（目標と実績）

成果指標		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用件数(市内)	件	450	404	470		500		520		520	
	利用件数(市外)	件	300	506	300		310		320		330	
b	実利用者数(市内)	人	7,300	3,518	7,400		7,550		7,700		7,700	
	実利用者数(市外)	人	3,500	1,702	3,500		3,550		3,600		3,650	
c	延利用者数(市内)	人	8,100	4,805	8,300		8,500		8,600		8,600	
	延利用者数(市外)	人	3,900	3,356	3,900		4,000		4,100		4,150	
d	施設使用料(市内)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設使用料(市外)	円	250,000	269,610	250,000		250,000		250,000		250,000	
e	実費弁償料(市内)	円	250,000	358,030	250,000		250,000		250,000		250,000	
	実費弁償料(市外)	円	200,000	518,060	200,000		200,000		200,000		200,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

区分		令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度予算	令和9年度予算	令和10年度予算
収支計 A		25,529,582	25,890,000	26,490,000	27,090,000	27,090,000
	指定管理料	19,900,000	19,900,000	20,500,000	21,100,000	21,100,000
	利用料収入 C	787,670	750,000	750,000	750,000	750,000
	自主事業収入	4,665,200	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000
	その他	176,712	200,000	200,000	200,000	200,000
支出計 B		25,529,582	25,890,000	26,490,000	27,090,000	27,090,000
	事業費	23,349,697	23,298,000	23,898,000	24,498,000	24,498,000
	内、人件費 D	10,927,126	13,820,000	14,220,000	14,620,000	15,010,000
	内、再委託料 E	532,172	565,000	565,000	715,000	565,000
	自主事業費	2,179,885	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000
事業収入	A-B	0	0	0	0	0
利用料比率	C/A	3.1%	2.9%	2.8%	2.8%	2.8%
人件費率	D/B	42.8%	53.4%	53.7%	54.0%	55.4%
再委託料比率	E/B	2.1%	2.2%	2.1%	2.6%	2.1%

4 事業評価

評価区分		評価項目	自己評価	所管評価
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	-	-
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	A	A
② サービスの質	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
	財務状況	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B
		指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B
	総括	①サービスの履行に関する評価	B	B
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	環境配慮	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
	広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	苦情等対応	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
③ 安定性	事業評価	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。		B	B
		利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B
	提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C
	総括	②サービスの質に関する評価	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 令和6年度は新たな管理期間となり、その事業計画のテーマとして『こどものアソビバ計画』を掲げ、当施設にお越しいただいたお子さまにご満足いただける取組を始めました。 その最初の取組みとして施設内にボルダリング設備を導入し、子どもたちが楽しみ、賑わう『アソビバ』を提供しました。 また施設認知度向上と新たな利用形態を開拓するため、『自然に親しみながら健康づくり』をテーマにグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。当事業は当社グループが管理運営する赤穂海浜スポーツセンターとの連携事業として開催し、相互の施設や事業の案内を行い、同一管理者であるスケールメリットを活かした事業として、次年度以降も継続開催します。 一方で施設利用者数が大幅に減少し、要因としては桜開花時期の観覧者数の減少や、昨夏の猛暑が原因でキャンプやバーベキュー利用が減少したことが要因と考えられます。 なお令和3年度に設置、運営を開始したドームテントも設置後4年が経過し、施設や設備の損傷も目立ってきたことから、機能性を高める目的も含め、令和7年3月に改修工事を行い、今後の利用回復に繋がるよう宣伝広告を積極的に行ってまいります。		
	【所管評価】 ボルダリング設備の導入や新たなイベント開催など、利用者を増やすための取組については大いに評価したい。施設利用者数の減少については、天候等に影響を受けにくい事業の周知方法の工夫などにより、自主事業の利用者及び収益が増加するよう、取り組んでいただきたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。